

### 社会教育主事課程について

社会教育主事とは、都道府県・市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的・技術的な助言・指導に当たる役割を担います。また、社会教育主事補は、社会教育主事の職務を助ける役割を担います。

### 資格を取得するには

社会教育法第9条の4の3に以下のとおり規定されています。

大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、以下のイからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの。

- イ. 社会教育主事補の職にあった期間
- ロ. 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものがあった期間
- ハ. 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間(イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。)

本学は、社会教育主事課程を現代社会学部に設置しています。

資格取得のためには、社会教育主事課程の履修申し込みを行い、上記規定に基づき、資格に必要な所定科目の単位を履修・修得することで、卒業時に社会教育主事となりうる資格(任用資格)が得られます。

社会教育主事になるためには、社会教育主事となりうる資格を有している者が、都道府県・市町村教育委員会から《社会教育主事》として発令されることが必要です。

### 社会教育士の称号の付与について

修得すべき科目の単位を全て修得した者は、社会教育士(課程養成)と称することができます。

社会教育士は、社会教育主事講習や社会教育主事養成課程の学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されます。

また、これらの活動に際しては、地域の実情等を踏まえ、社会教育士と社会教育主事との連携・協働が図られることが期待されます。

社会教育士は社会教育主事講習等の学習成果を活用するための称号であり、社会教育主事に代わるものではありません。

### 社会教育主事課程の履修申し込みについて

社会教育主事の任用資格を得るためには社会教育主事課程の履修申し込みが必要です。以下のとおり申し込み手続きをしてください。

1. 社会教育主事課程の履修申込は3年生で行います。履修申込方法についての詳細は、新学期スタート直前に実施される新3年生対象の資格(社会教育主事)説明会で説明します。
2. 社会教育主事課程の履修申込は、所定書類の提出と社会教育主事課程履修費の納入(10,000円)をしなければなりません。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。
3. 3年生で社会教育主事課程の履修申込をした学生は、**4年生の春学期(4月)に社会教育主事課程履修継続申請書を提出**しなければなりません。教務課窓口で申請書を受け取り必ず手続きを行ってください。

### 科目の履修方法

社会教育主事課程履修申込後の3年生から、社会教育主事課程科目が履修・修得できます。

1. 社会教育主事課程は、現代社会学部で開講しています。従って他学部生が履修する場合は地理的条件、所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約されることがあります。
2. 社会教育主事課程資格科目一覧表に定める科目(本学開講の授業科目)を履修・修得し、要件を満たさなければなりません。
3. 社会教育主事課程科目以外にも、資格に必要な科目があります。社会教育主事課程資格科目一覧表を確認し、資格に必要な科目を1年生から積極的、計画的に履修・修得してください。

### 《履修上の注意》

他資格(教職・司書・社会福祉士・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなることがあります。

### 社会教育主事単位取得証明書の発行について

社会教育主事課程の履修者で、所定科目の単位を履修・修得し要件を満たした学生には、卒業時に社会教育主事単位取得証明書を発行します。また、同資格単位取得見込証明書等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

社会教育主事課程資格科目一覧表

社会教育法に定める科目		本学開講科目	単位	履修可能学年	要件	科目を設置している学部等	修得科目チェック
必修	生涯学習概論	生涯学習論Ⅰ	2	1～4年	修得	現代社会	
		生涯学習論Ⅱ	2	2～4年	修得		
	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4	3～4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育経営論	社会教育経営論	4	3～4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育特講	現代社会学	2	1～4年	この中で8単位修得	現代社会	
		地域社会学	2	2～4年			
		家族社会学	2	2～4年			
		教育問題と学校の社会学	2	1～4年			
		社会階層と教育の社会学	2	3～4年			
		環境社会学	2	2～4年			
		国際理解教育Ⅱ(注2)	4	2～4年			
		博物館概論	2	1～4年			
		博物館資料論(注3)	2	2～4年			
		博物館経営論(注3)	2	2～4年			
		図書館概論(注4)	2	1～4年		司書課程	
		図書館サービス概論(注4)	2	2～4年			
		マスコミの社会学	2	2～4年		現代社会	
		現代社会と福祉Ⅰ	2	1～4年			
		現代社会と福祉Ⅱ(注5)	2	1～4年			
		人間形成論	2	2～4年			
		発達心理学	2	2～4年			
		臨床心理学	2	2～4年			
		コミュニティ心理学	2	1～4年			
		社会心理学	2	2～4年			
	教育学A	2	1～4年	全学共通科目			
	教育学B	2	1～4年				
	スポーツ社会学(注1)	2	2～4年	スポーツ科			
生涯スポーツ論(注1)	2	2～4年					
健康教育学(注1)	2	2～4年					
レジャー・レクリエーション論(注1)	2	1～4年					
社会教育実習							
選択	社会教育演習	社会教育課題研究(社会教育実習を含む)	4	3～4年	修得	社会教育主事課程	
	社会教育実習						
	社会教育課題研究						

(注1) スポーツ学部生のみ履修を認めている科目です。他学部生の履修は認められていません。

(注2) 履修者数制限を行っている科目です。

(注3) 現代社会学部国際文化専攻の学生および学芸員課程履修者に履修を認めている科目です。

(注4) 司書課程履修者のみ履修を認めている科目です。

(注5) 現代社会学部社会福祉学専攻の学生のみ履修を認めている科目です。他学部および現代社会学部他専攻の学生の履修は認められていません。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30